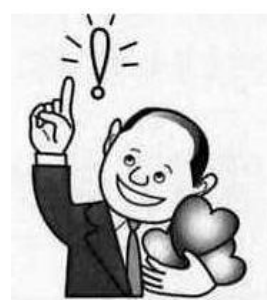




富士見市議会議員 関野かねたろうの 活動報告



平成22年春号 No.35

ごあいさつ

今までも、そしてこれからも・・・市民の皆様と同じ目線で、
「心ふれあう安心のまちづくり」の実現を目指します！

桜の開花情報が気になる季節になりましたが、皆様ますますご隆昌のことと拝察申し上げます。日頃なにかとご指導ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。

3月議会は市議会議員の改選を控え、例年よりも早めにスタートし3月4日に終了いたしました。私は議員としての責務を果たすべく、予算審議がメインを占める大事な議会として、また1期4年の区切りの議会として市民目線で臨みました。

政治の大きな役割は、夢の持てるまちづくり、安心して住み続けることのできる社会を創造することにあります。私自身も「サクラサク」吉報を目指し、スローガンである「心ふれあう安心のまちづくり」実現にむけ更なる努力を重ねて参りますので、変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。

3月議会報告：主な議案や質疑について

関野かねたろうは子どもたちにとって夢のある富士見市を目指し審議に臨みました！

3月議会は議案27件、他に諮問1件、請願1件、陳情3件が提案され、最終日には6議案が追加されました。市政一般質問には私を含め15名が活発な質疑を行いました。

提出された議案のうち多くのボリュームを占めるのは21年度予算議案(一般会計・国民健康保健特別会計・鶴瀬駅東西の区画整理関係・上下水道それぞれの企業会計など)ですが、市内各地の地区計画区域を条例に追加し、建築物等の基準を定める条例、一般職の任期付職員の採用に関する条例、墓地等の経営の許可等に関する条例、市営住宅条例、そして副市長、教育委員の人事案件など重要案件が多岐に渡りました。

さて議論に多くの時間が費やされた21年度予算案ですが、私は総務常任委員会で所管する総合政策部、市民部などに関する部分を担当しました。その中で本会議の総括審議でも議論が集中した会計報告書作成業務委託について会派を代表して質疑を行いました。市民の皆さんにわかりやすく報告するための会計報告書を作成するということですが、その趣旨は理解するものの、委託先の選択について慎重を期すべきとの発言をしました。現在、市民にわかりやすい会計報告のあり方について多くの専門家が議論しています。それらを公平に精査し、最もふさわしい委託先を選択すべきと考えます。

3月議会の私の市政一般質問

多くの皆様に傍聴にお越し頂きありがとうございました。

情報公開のあり方、教育問題、旧日本レダリー（ワイズ）跡地関連の問題、江川沿いの堤防の改良などについて質疑をしました。教育ではコミュニティスクール関連、旧レダリー跡地問題では騒音や完成後を見据えて信号設置などについて多くの時間を費やしました。

以下、その概要を記載いたしました。

1. 施政方針を踏まえ、協働を支える情報公開の在り方などについて

情報公開こそが市民の皆さんにとって寄りよいまちづくりに向けた、執行部と議会の議論の大前提となる。その点を踏まえての質問です。

問：経済状況の劇的変化における予算編成に至る情報公開は

市長は昨年と今年で市長査定の厳しさを訴えているが、予算編成過程においてどのように厳しくなったのか？ 十分な情報公開がなされてはいないのでは？

答：市税・交付金等の歳入見込みを大きく減額し予算を調整した。来年度は予算編成過程の情報公開に向けた検討を行う。また、4月中旬から下旬にかけて予算等に係る地域説明会を開催し、市民の皆さんと意見交換をする。

問：継続されている行政課題について説明責任を

昨年の9月議会前に全員協議会で説明を受けたが、その後の進捗状況の説明がない以下の2点について説明を求めます。

①コンピューターシステム移行の現状は

答：大型汎用コンピューターからの切り替えを今年の6月までに行う計画である。部分的であるが検証作業に入っている。遅延に係る損害賠償は現金で5,200万円、システム費用の富士見市負担分を軽減するところまで話が進んでいる。

②水谷旧暫定逆線引き地域の市街化編入について

答：現在県の内部協議を行っており、その後国との協議を行うと聞いている。県と密接な情報交換を行い、市街化区域再編入に向けた最大限の努力をしている。今後はおおむね国の理解が得られ次第、地元への情報提供を行っていく。

問：市役所出張所の支所化、多機能化への具体的歩みは

市役所に行かなくても用事が済むように出張所が進化することは大切である。新年度に向けた今後の具体的なタイムスケジュールを改めて伺います。

答：関係各課との連携を図りながら、地域性や立地条件、利用者ニーズを調整し、求められる機能の明確化・優先化を図った上で、できるところから段階的に拡充していきたい。

2. 教育行政方針を踏まえ、子どもたちを守り育てる教育行政について

問：「学校はもっと自由に生き生きと」という市長の教育観をどのように教育行政に活かすのか。また、富士見市教育ビジョンの策定をすべきと考えるが。

答：21年度で教育相談研究室体制やすこやか支援員の充実、基礎学力定着支援員や少人数指導員、小学校理科支援員の有効活用、体験的学習の充実などを行う。教育ビジョンの策定の提言を

問：今年も4月21日に予定されている。過去行った全国学力・学習状況調査を富士見市の学力向上にどう活かされてきているのか？

答：学校教育課指導主事が市全体の分析を行い、課題及び改善策を提示し、各学校の教育活動全般を見渡した指導計画の見直しや、指導内容や指導方法等の工夫改善について支援している。富士見市においては、知識・技能を活用して考え判断し表現する力や、学習に取り組む意欲を高め、態度を育成することが必要であるという課題がある。この課題の改善に向かって取り組んでいく。

問：学校運営委員会を市長は提案している。これは地域の教育力を活かすコミュニティスクールの原点である。制度の導入を具体化すべきでは？

答：優れた地域の人材の発掘や様々な手続きの必要性など調整を要する課題が多い。県内でも実施例はなく、全国的にも設置率は小中学校の1%未満である。制度の趣旨を活かしつつ、地域から信頼される学校づくりに向けた取り組みを支援すると同時に、県や国の動向を踏まえ研究していきたい。

3. 暮らしに優しい安心安全なまちづくりについて

問：志木市の水谷東地域に隣接する地区に計画されている大型店に対し、騒音や交通安全など地域の安全確保に向けた対策を。併せて、荒引工務店かどの信号設置や横断歩道のペイントを再度要望する。

答：提出された要望書の内容と趣旨が十分理解できるので、富士見市名で志木市長宛に指導徹底の強化を要望した。今後も住民との連携を密に対応を進める。信号設置の必要性は認識している。交差点改良を中心とする道路線形の見直しを検討すべく現在測量事務を進めている。横断歩道のペイントについては再度要望をする。

問：水子別所掘沿いの柳瀬第9処理分区公共下水道を、関係地域の環境整備にどう活かしていくのか？水子旧暫定逆線引地区の市街化編入との関連で伺う。

答：地域環境整備の根幹となる汚水幹線の整備が完了していることから、今後の課題として各戸から幹線までのルートをどのように整備するかは最も効率的かの判断が求められる。この点で市街化編入手続きの結果が大きく影響してくる。それらを見極めたうえで効率的な計画策定に向けた調査研究をしていく。

問：地域の通学道路や生活道路として利用されている江川土手を整備し、雑草や水溜りのない歩きやすい道路に

答：雑草については除草の範囲や回数等の見直しを検討し、安全対策に努める。土手部分については堤防下の市道をどう利用するか、危険と思われる部分の暫定的な対応が可能かどうか調整を図っていく。

着々進んでいます



地権者のご協力により整備されます



水谷東小学校放課後児童クラブが新設！

お知らせ

- Web site(ホームページ)にも詳しく活動内容を掲載しています。ぜひご覧下さい！
URL は <http://www.k-sekino.com> です。

もしくは でも可能です

- 自宅(セキノ酒店)隣に「市民相談所」を開設しました。
ご要望やご意見、どんなことでもお気軽にご利用ください。
例えば、地域の安心安全に関すること、地域環境整備に関すること何でも気軽にご相談してください。すぐできないものや多額の予算を必要とするものは継続して取り組んでまいります。
- 富士見市議会議員としての所属
会派:21・未来クラブ
常任委員会:総務常任委員会 副委員長
一部事務組合:入間東部消防組合議会
- その他
富士見市商工会理事
水谷東地区社会福祉協議会顧問
水谷東1丁目町会顧問
柳瀬川いかだラリー実行委員会委員
「東っ子くらぶ」サポーターなど
- ★発行責任者:富士見市市議会議員 関野かねたろう
富士見市水谷東 1-2-10 TEL049-255-0506 Fax049-255-0549